

令和2年度 自己評価書

学校名 北海道おといねつ芸術工芸高等学校

1 学校教育目標

造形体験を重ね、創造力を育成する。
 ○基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める。
 ○個性を生かし、豊かな自己実現を目指す。
 ○自然に親しみ、情操を豊かにする。創造的な能力と専門的な知識をもち、社会に貢献できる人間を育てる

2 本年度の重点目標

(1) 基本的な生活習慣の確立と学習習慣の定着をめざす。
 (2) 確かな技術技能の定着をはかり、生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
 (3) 学校生活・寄宿舎生活をとおして、豊かな心と社会性を育成する生徒指導を推進する。
 (4) 3年間を見通したキャリア教育を推進し、自己実現に向かい取り組む姿勢を身につけさせる。
 (5) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し研修や実践を推進する。

3 自己評価結果

分野	評価項目	達成状況	職員アンケート評価	職員アンケートR1	取組の適切さ	職員アンケート評価	職員アンケートR1	改善の方策
教育目標	1 学校教育目標等について教職員の共通理解が図られている。	A	4.43	4.57	A	4.43	4.64	・学校評価の活用推進 ・職員評価制度の活用推進 ・職員研修の活用推進 ・スクールポリシー等の作成と確立
	2 学校教育目標の実現に向けた取組が行われている。	A	4.50	4.57	A	4.50	4.57	
学習指導	3 生徒の実態や学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている。	A	4.71	4.64	A	4.57	4.57	・教育課程の改善 ・授業改善の推進・ICT機器の有効活用の検討 ・学習意欲の醸成と学習習慣の確立 ・朝学習を活用した礎学力の定着 ・測定ツールを用いた学力定着度測定と学力ケアの充実
	4 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに学習習慣の確立に努めている。	A	4.43	4.43	A	4.71	4.57	
	5 学習意欲を高め主体的に学ぶための教科指導の充実と、評価の工夫・改善に努めている。	A	4.43	4.64	A	4.36	4.64	
生徒指導	6 基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成を図り、生命と人間尊重の精神を育むように努めている。	A	4.57	4.64	A	4.71	4.57	・基本的な生活習慣の確立 ・安全教育の推進 ・生徒理解の深化 ・教育相談の充実 ・子供理解支援ツールの有効活用
	7 自他の安全・安心を確保するための資質や能力を育てている。	A	4.64	4.71	A	4.79	4.64	
	8 一人ひとりの生徒を大切に、生徒理解に基づく指導の充実を図っている。	A	4.71	4.79	A	4.57	4.86	
いじめへの対策	9 教職員、寮、家庭との連携を図り、未然防止・早期発見に向けた観察やアンケート、教育相談を推進している。	A	4.79	4.57	A	4.79	4.79	・生徒観察、理解の推進・寮との連携 ・いじめ対応の組織的取組
学校行事 課外活動	10 学校行事の検討を通して活発な生徒会活動の推進と生徒の精神的成長を目指している。	A	4.79	4.71	A	4.79	4.71	・行事内容の改善充実 ・委員会活動の活性化 ・寮生会活動の活性化 ・リーダー研修の充実
	11 部活動の活発な活動を推進している。	A	4.79	5.00	A	4.86	4.93	
進路指導	12 自己を理解し進路について自ら考え積極的に行動できる生徒を育てる進路指導に努めている。	A	4.50	4.50	A	4.50	4.57	・計画的進路指導の改善・推進 ・進路情報の収集・進路開拓の推進 ・情報提供の工夫と進路意識の醸成 ・インターンシップの充実 ・異校種、産学連携の推進 ・キャリアパスポートの作成・活用の推進
	13 地域連携を推進し、体験的、実践的な学習を通して望ましい勤労観、職業観を育成している。	A	4.36	4.14	A	4.43	4.14	
	14 生徒が主体的に進路選択ができるように情報収集・発信に努め、保護者・生徒・教師の相互理解を図っている。	A	4.57	4.14	A	4.50	4.21	
健康安全 指導	15 健康保持への意識を高め、疾病予防、健康増進への態度を育てている。	A	4.79	4.50	A	4.79	4.57	・防災訓練の工夫改善 ・安全教育の推進 ・危機管理マニュアルの見直し ・感染症対策の一層の徹底 ・教育相談後のフォローアップ体制の構築 ・関係機関との連携
	16 生徒の生命安全を第一に考えた防災意識の高揚に努めている。	A	4.71	4.71	A	4.86	4.71	
	17 生徒のメンタルケアに努め、安定した学校生活を目指している。	A	4.71	4.64	A	4.79	4.71	
研修	18 校内研修を推進し、生徒の実態を踏まえた指導に係る研修・研究を行っている。	A	4.43	4.50	A	4.50	4.50	・実践的な校内研修の充実 ・研修成果の還元
組織運営 ・ 保護者、 地域住民 等との 連携	19 共通意識を図り、協働体制の強化に努め、明るく活気のある職場づくりを推進している。	A	4.21	4.29	A	4.36	4.36	・校内組織間の情報の共有化 ・互いに話しやすい職場環境づくり ・PTA活動の充実 ・HP等情報発信の工夫改善 ・地域・保護者との関係の充実 ・部活道指導等、業務の見直し ・働き方改革のより一層の推進
	20 PTA活動・同窓会活動の促進に努めている。	A	4.43	4.36	A	4.64	4.43	
	21 学校の教育方針や教育活動について積極的に発信し、本校の教育活動への理解と協力が得られるよう努めている。	A	4.36	4.29	A	4.43	4.43	
	22 ボランティア活動や各種行事へ積極的に参加し、地域や家庭の期待に応えている。	A	4.29	4.14	A	4.43	4.29	
New !	23 北海道アクションプランを意識して、働き方改革を推進している。		4.21	0.00		4.29	0.00	

※ 評価基準

A: 充分である=4以上 B: 概ね充分である=3.5以上 C: 不十分である=3.5未満 D: 改善を要する=3未満

4 次年度以降の目標設定に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

(1) 今年度の、各重点目標の更なる推進を目指す。
 (2) スピーディーで確実な実践に努める。
 (3) 本校の取り組みを、保護者・地域の方々に理解いただく工夫に努める。
 (4) 保護者・地域の協力を得て、地域や保護者から信頼され子供を学ばせたい学校を目指す。